

管理本部長メッセージ



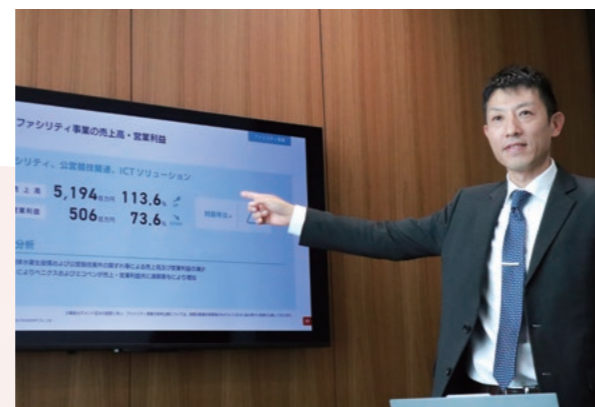
取締役／
管理本部担当
稲生 篤彦

人的資本強化と成長投資を両輪に
持続的な企業価値の向上を
目指します。

当社グループは、中長期的な収益力の向上を見据え、M&A投資と人材投資を成長戦略の中核と位置付けています。人的資本の強化を通じて「エンジニアエコシステム」の実現を目指すとともに、JESアカデミーを活用した人材育成や資格取得支援、柔軟な人材配置を推進しています。あわせて、財務健全性とのバランスを保ちながら、成長投資と安定的な株主還元を両立を図り、持続的な企業価値向上に取り組んでいます。

収益力の向上に向けた成長投資について

2025年9月期は、売上高が前期比21.1%増の112億6,100万円と過去最高を更新した一方で、当期純利益は3億100万円（前期比51.3%減）、ROEは5.5%（前期は12.6%）となりました。M&Aを通じたグループの事業規



模拡大に伴って売上高が増加した一方、M&Aに伴う仲介手数料や、新たにグループ会社となった(株)三進とJes東海通建(株)の半期決算による業績変動など、主に一過性の要因によって、当期純利益は減少しました。中長期的な収益力向上に向けた「成長投資」については、利益水準や株主還元などのバランスを考慮しながら実施しています。とくにM&A投資によるグループの拡大に積極的に取り組んでおり、M&A投資先としては現セグメントの川上・川下領域を主な対象としています。地域的には国内全域に加え、グローバル展開も視野に入れています。このほか、採用および教育を中心とした人材投資にも力を入れています。



「エンジニアエコシステム」の実現を目指しています。また、JESアカデミーの卒業生たちなどを対象に柔軟に配置転換を行うことで、従業員が望むキャリアに挑戦できる環境の整備にも継続的に取り組んでいます。

財務の健全性について

2025年9月期は、本社機能を備えた賃貸ビルの建設やM&A投資が重なり、有形固定資産が大幅に増加しました。これに伴って長期借入金も増加していますが、必要最小限にとどめるよう留意しています。当社グループではCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)を活用してグループ資金を集約することで、M&Aによる投資等への効率的な資金配分を行っています。今後も特にM&Aや新たな拠点設置による投資が増加することが想定されます。有利子負債によるレバレッジを活かしつつ、財務健全性を保ったバランスの良い経営を進めてまいります。

株主還元について

当社グループは資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて様々な取り組みを推進しています。株主還元については上場以来、一貫して増配を実施しており、2026年9月期も4期連続の増配(年間18円予想)を予定しています。また、2025年4月には、より投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的として、1:3の株式分割も実施しました。今後もM&Aや人材への投資、その他成長に向けた様々な投資を積極的に行うことを重視するとともに、安定的な株主還元にも努めてまいります。また、株主の皆様当社を知っていただく機会をさらに充実させたいと考えており、投資家説明会などにも積極的に参加してまいります。



「エンジニアエコシステム」の実現に向けて

当社グループは現在、人的資本強化に関する取り組みを加速しています。2025年9月期には、難易度の高い「レベル3」の資格保有者数が207名となり、中期経営計画目標(60名)を大幅に超過達成することができました。この最大の要因は、M&Aを通じて大量の優秀な人材をグループに迎え入れることができたことにあると考えています。

さらにこうした新たな仲間たちが、当社グループの人材育成拠点である「JESアカデミー」に積極的に入校してくれています。例えば、道路事業部関連のグループ会社である(株)日新ブリッジエンジニアリングから2名が入校し2026年2月に1名が卒業、空調衛生サービス部関連のグループ会社である葵電気工業(株)からは1名が入校して2025年9月に卒業、さらにこの4月には新たに2名が入校しました。

当社グループは、こうした優秀な人材の育成や資格取得支援、資格手当の拡充などに取り組むことで、「エン